

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【常盤中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	1.国語・数学の「知識・技能」において、高い水準を維持しつつ、令和8年度全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の全国や市平均より自校の結果を15%以上のアップを目指す。 2.国語の「読むこと」、数学の「資料の活用(資料を読み取ること)」において、高い水準を維持しつつ、令和8年度全国学力・学習状況調査やさいたま市学習状況調査の全国や市平均より自校の結果を15%以上のアップを目指す。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	1年間を通して、教科会を定期的に行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に向けた授業作りと意見交換を行う。また朝読書の時間の10分間を継続し、時間を確保することで、日頃から書物に親しむ機会を増やす。

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	調査の振り返り(4月)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態	調査結果分析(7月)	<ul style="list-style-type: none"> ①調査問題の解説 ②振り返りの終了報告

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果	さいたま市学習状況調査(5月)	<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> ①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
学力向上策の 見直し		<ul style="list-style-type: none"> ①調査問題を解説 ②振り返りの見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)